

(様式2)

放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈小・6〉 いわき市立平第六小学校
<実施日>	平成 28 年 2 月 29 日 (月)
<実践教科等>	※当てはまる番号に○を付けてください。4は()に教科等を入れてください。 1 理科 ② 学級活動 3 総合的な学習の時間 4 その他 ()
<実践内容>	5年「放射線の学習をしよう」 1 放射線と放射能、放射性物質の違いを知ろう。 (1) 事前アンケートから (2) 放射線と放射能の単位から 2 身の回りや自然界の放射線を知ろう。 (1) 自然界に存在する放射線 (2) 食べ物など身の回りに存在する放射線 3 身の回りや自然界の放射線を見てみよう。 (1) 霧箱実験器を使って、身の回りや自然界の物から出ている放射線を確認 4 放射線から身を守ろう。 (1) 健康に影響を及ぼす放射線量 (2) 外から受ける放射線の量を少なくする方法を知る。 ・放射性物質から離れる(風上の方角に) ・放射線を受ける時間を短く ・放射線をさえぎる(コンクリートの建物の中) 5 学習のまとめをしよう。 (1) 本時で学習したことのまとめ (2) 感想
<成果>	○外部講師を招いて授業を行った。放射線と放射能、放射性物質の違いをピッチャーやボールに例え、分かりやすく説明していただいたので、その違いや関係を正しく理解することができた。 ○霧箱実験器を使い実際に放射線を目にすることで、身の回りや自然界にも放射線が存在することを知り、今までの不安が軽減したことが感想の中に書かれていた。
<課題>	○東日本大震災後に避難してきている児童が数名いる。また、原子力発電所関係の仕事に携わっている保護者もいることから、指導の際の配慮が必要である。 ○今年度も、学級活動での放射線教育を計画している。今後も意図的・計画的に放射線教育を推進していくことで正しい知識を身につけさせ、「自ら考え、判断し、行動できる力」を育てていきたい。
資料作成担当者職(教諭)氏名	(沼崎 眞由美)
学校電話番号	(34 - 2207)

【資料作成上の注意】

- 平成27年8月～平成28年7月の実践についてまとめてください。
- 提出期限の平成28年8月1日(月)までに電子メールで送信してください。
(送信先: kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp)